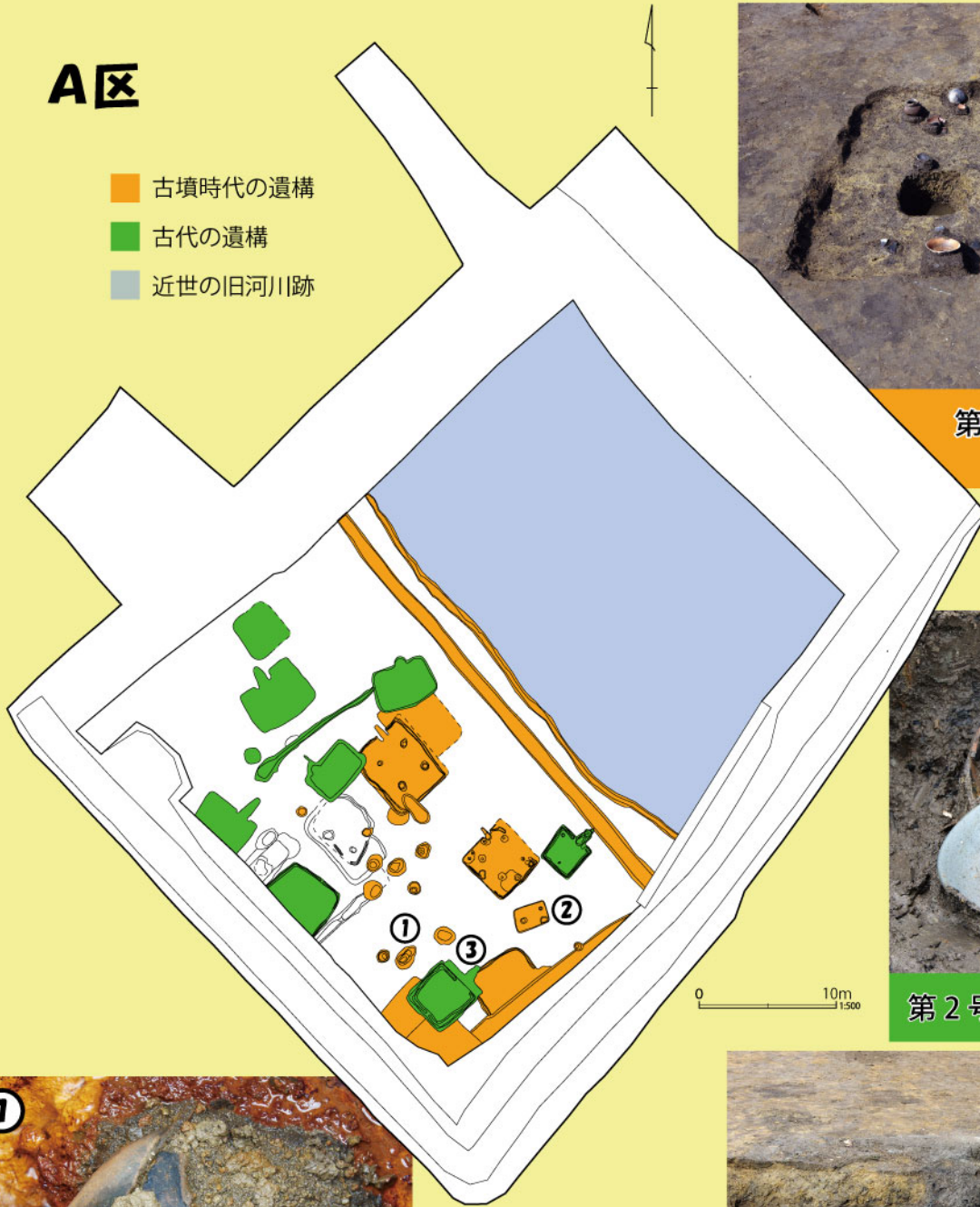


行田市 北大竹遺跡 (第18次)

令和元年10月から始まった北大竹遺跡(第18次)調査では、古墳時代後期から平安時代にかけてのムラの跡のほか、多量の土器や石製模造品などがまとまって出土する場所が見つかりました。

A区

- 古墳時代の遺構
- 古代の遺構
- 近世の旧河川跡



第2号土壇 ^{ところ}土器などの出土した様子



第2号住居跡 平安時代の食器



第9号井戸跡 古墳時代の煮沸具 しゃぶつく



第2号住居跡 カマド周辺の土器

北大竹遺跡 B区の ^{さい} ^し ^{あと} 祭祀跡 から出土した **大量** の遺物たち



1 遺物集中地点(1)

古墳時代後期
から
飛鳥時代

祭祀跡

①



2 子持勾玉と白玉がおさまられた土師器の食器
こもちまがたま うすだま



3 子持勾玉が入った須恵器の大甕 おおがめ



4 並んですえられた須恵器の大甕



5 遺物集中地点(2)

古墳時代後期

祭祀跡

②



6 脚付長頸壺(1) 古墳以外から出土することがめずらしい。
きゃくつきちょうけい つぼ



7 脚付長頸壺(2) その周辺の土器群



8 祭祀に用いられた後、重ねてまとめた土器